

指 定 理 由 書

- 1 名 称 見野古墳群 6 号墳出土品
(みのこふんぐんろくごうふんしゅつどひん)
- 2 種 別 考古資料
- 3 員 数 一括 (別表のとおり)
- 4 所在地 姫路市四郷町坂元 4 1 4 番地 1 (姫路市埋蔵文化財センター)
- 5 所有者 姫路市
- 6 時 代 古墳時代

7 説 明

(1) 見野古墳群 6 号墳について

見野古墳群は、姫路市南東部、市川東岸に所在する麻生山（小富士山、標高 173m）から派生した尾根の東斜面に分布する古墳群である。古墳時代後期から終末期の群集墳で、現在確認されているものは全て横穴式石室を主体部とする。報告書（註）には見野 1 号墳～見野 16 号墳の 16 基が記載されているが、うち 12 基が見野和光公園を中心とする東西約 120m×南北約 150m の範囲に集中し、畑地の中に古墳が点在する特異な景観を呈している。1 基の墳丘に 2 基の横穴式石室を備えた 6 号墳のほか、巨石を用いた石室が露出した姿により「姫路の石舞台」と呼ばれる 10 号墳など特徴的な古墳を含むことから、姫路市を代表する遺跡のひとつと言えよう。

見野古墳群では、平成 17（2005）年度から平成 20（2008）年度にかけて、姫路市教育委員会と立命館大学文学部が測量調査、発掘調査及び周辺部の踏査を実施した。3 号墳と 6 号墳では石室内の発掘調査を行い、石室が長期間開口した状態であったにもかかわらず副葬品等が良好に保存されていることが判明するなど、重要な成果を得た。

調査成果を受け、10 基（1～4・6・8～10・12・13 号墳）が平成 18（2006）年に姫路市指定史跡となり、このうち古墳の様相が判明している 4 基（3・4・6・10 号墳）については、平成 31（2019）年に兵庫県指定史跡に指定された。

6 号墳は、古墳群の中央付近に位置し、丘陵の緩斜面を利用して構築されている。ひとつの墳丘に東西 2 基の横穴式石室を持つ特徴的な古墳であるが、後世の大幅な削平により墳形・規模は不明であり、両石室の奥壁は大部分が失われてトンネル状に開口している。発掘調査の結果から、両石室は同時に構築された可能性が高い。

東石室は南南西に開口する無袖式の横穴式石室で、現存最大長約 8.8m（推定全長約 9.5m）、最大幅約 1.6m、最大高約 1.8m を測る。奥壁は基底石しか残っていないため、石積みの様相は不明である。側壁は大型の基底石の上にやや小型の石材を 3～4 段積み上げて構築している。天井石は現状では 3 枚架構している。

発掘調査の結果、石室内には厚さ 50～60 cm の土砂堆積が認められ、その下に本来の床面

が良好に保存されていた。床面は奥側（玄室側）を礫敷きとするが、手前側（羨道側）三分の一程度は土床である。この部分には中央に排水溝が延び、石室西側壁に接して小型箱式石棺 1 基が据えられていた。箱式石棺内を含めて、最終的に 4 体以上の埋葬が想定される。

出土遺物は大半が床面の礫敷き上から、ほぼ原位置を留めていると思われる状態で見つかった。須恵器杯の編年観から、初葬時期は 6 世紀後半と考えられる。

西石室は南向きに開口する無袖式の横穴式石室である。東石室に対して石室の主軸はやや東に傾くが、墳丘の調査成果からは、東石室とほぼ同時に構築されたと考えられる。現状の規模は最大長約 8.5m、最大幅約 1.5m を測る。奥壁は基底部の大型石材以外は欠失している。側壁は東石室と同様、大型の石材を基底部に据え、その上にやや小型の石材を横向きに 4～5 段積み上げる。天井石は現状では 4 石残存している。

石室内には流入土の堆積が 70～90 cm の厚さで認められた。奥壁の崩壊後に形成された土層には、石室の構築材と想定される石材が大量に混入している。その下の床面を被覆する土層からは、ほぼ原位置を保った状態で遺物が出土している。

東石室と異なり、地山をそのまま床面としている。石室中央部には排水溝が掘られ、小型箱式石棺 2 基が設けられていた。これらの石棺内を含めて、最終的に 4 体の埋葬が想定されている。

出土遺物から初葬時期は、東石室と同様 6 世紀後半と考えられるが、床面被覆土の上層から奈良時代以後に比定される大型の土師器類がまとまって出土するなど、後世まで石室が利用されていた様子が窺える。

（註）見野古墳群の発掘調査報告書は、以下の 2 冊が刊行されている。

- ・姫路市教育委員会 2009 『姫路市見野古墳群発掘調査報告』
- ・立命館大学文学部 2011 『立命館大学文学部学芸員課程研究報告 第 13 冊 姫路市見野古墳群発掘調査報告』

（２）出土遺物の概要（別添一覧表参照）

①東石室

大半の遺物が石室奥の礫敷き上から出土している。須恵器や鉄刀、装身具類の出土位置には一定の傾向が認められ、遺体の埋葬位置を反映している可能性がある。

須恵器では杯蓋・杯身、蓋、壺、短頸壺、甕、高杯、提瓶、甕が出土している。杯は全て古墳時代に属する杯 H で、蓋が 20 点・身が 19 点あり、うち 14 組がセット関係にあると考えられる。形式的には T K 43 型式、T K 209 型式、T K 217 型式が認められる。6 世紀後葉から 7 世紀中頃の限られた期間における追葬状況を良好に示すものとみることができる。

なお、T K 209 型式に比定される杯身（28）の内面には、小型の哺乳類の足跡が残されている。この足跡は焼成前、生乾きの段階で付けられたもので、大きさと形態からはネコのものである可能性が高い。この足跡がネコのものであるとすれば、文献資料に現れる古代以前にイエネコが人間の身近に存在したことを示すもので、貴重な資料である。

土師器には小型の壺等がある。

装身具には耳環と玉類（切子玉、棗玉、管玉、ガラス小玉）がある。耳環は9点出土しており、うち2点（1組）が銅芯金貼りの金環で、残りは銅芯銀貼りの銀環である。

武器には鉄刀、鉄鏃及び弓金具がある。鉄刀はいずれも複数破片に分離しているものの、3振り出土している。鉄鏃には平根系（腸扶柳葉式、長三角式、圭頭式）、長頸鏃が認められる。

馬具としては鉄製轡1組がある。轡は銜・鏡板・引手から構成される。また、雲珠ないしは辻金具に付属する飾り金具1点が出土している。

工具類としては、刀子、鉋、鉄釘等が出土している。

なお、正確な出土状況は不明であるが、中世のものと思われる伊予札が1点出土している。鉄製品については、いずれも保存処理を実施済である。

②西石室

奥壁付近及びその約2m手前に須恵器をはじめとする遺物の集中が認められる。さらに手前の小型箱式石棺北側でも須恵器がまとまって出土しており、原位置を大きく動いていないものと想定されている。羨道部からも遺物が一定量出土しているが、これらは二次的に移動している可能性が高い。

須恵器には杯、高杯、平瓶、鉢、壺、提瓶、甕がある。杯では東石室と同様、杯H（TK43型式～TK217型式）が主体を占めるが、杯A・B等、明らかに後出する資料も出土しており、奈良時代以降においても石室を利用していた可能性がある。さらに時代が降る資料として、東播系須恵器の椀が1点出土している。

土師器は出土状況を勘案すると、大きく5群に分類される。石室内東北隅の床面から出土した小型壺、高杯、鉢等は、初葬時の副葬品と考えられる（1群）。古墳時代後期から飛鳥時代、奈良時代に比定されるものは、追葬に伴う資料の可能性もある（2・3群）。

奥壁崩壊時の流入土の上面から出土した大型品（4群）には、左右非対称形の壺や台状の製品など、極めて特殊な器種が含まれる。類例に乏しく、その性格等は不明であるが、奈良時代後半から平安時代中頃に位置づけられる可能性が高い。奥壁崩壊後の堆積土より上層から出土したもの（5群）についても、奈良時代以後に比定されよう。4・5群については古墳の埋葬には直接関連しないものと考えられるが、後世における横穴式石室の利用状況を示す資料として評価できる。

装身具には耳環5点と玉類（管玉、切子玉、勾玉、土玉、ガラス小玉）がある。耳環は全て銅芯銀貼りの銀環である。

武器には鉄鏃と、鉄刀と考えられる板状鉄製品がある。鉄鏃は腸扶柳葉式と方頭式が確認できる。また、時期や器種を特定できない鉄製品が1点出土している。

鉄製品については、いずれも保存処理を実施済である。

古墳に直接関連するものではないが、石室内から平瓦の小片が4点出土した。近隣に所在

する見野廃寺の表採資料と類似する特徴を有する。

（３）所見

見野古墳群 6 号墳は同時に構築された 2 基の横穴式石室を有する「双室墳」であり、石室内からは最終埋葬以後ほとんど攪乱を受けていない状況で副葬品類が出土している。

兵庫県内の双室墳としては、苦楽園五番町古墳（西宮市・円墳・7 世紀代）、迫間 14 号墳（朝来市山東町・円墳・6 世紀後葉）が知られる。

見野古墳群 6 号墳出土品は、須恵器の編年観に従えば、6 世紀後葉から 7 世紀中葉に比定され、数十年間の限られた期間内での継続的な追葬の様相を窺わせる良好な資料である。類例の少ない双室墳からの一括資料であることを併せ、市川下流域における当該期の群集墳出土遺物として、基準資料となり得るものと評価することができる。

なお、西石室で出土した大型土師器の一群（4 群）は一括性が高いものと考えられ、追葬を含め古墳の機能が終了した後も、横穴式石室内で何らかの行為が行われた可能性を示唆するものである。また、石室内からは白鳳期の布目瓦片や中世の遺物も出土している。これらは古墳の評価に直接関連するものではないが、古墳の機能終了後、現在に至るまで開口していた横穴式石室の利用を反映した資料として評価すべきものである。

一覧表に記載の番号は、以下の報告書に基づく
姫路市:『姫路市見野古墳群発掘調査報告』2009 姫路市教育委員会
立命館:『立命館大学文学部学芸員課程研究報告第13冊 姫路市見野古墳群発掘調査報告』2011 立命館大学文学部

見野古墳群6号墳 東石室 須恵器 一覧（1） 立命館報告書 図39・40・41

立命館	姫路市	器種	口径	最大径	器高	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	杯蓋	15.8		4.8	S・U区	第Ⅵ層・第Ⅶ層(床面直上)	
2	2	杯蓋	15.4		4.6	T区	第Ⅶ層(床面直上)	
3	3	杯蓋	14.4		3.8	A・C・D・F・S・U区	第Ⅵ層・第Ⅶ層(床面直上)	
4	4	杯蓋	16.0		4.4	B・C・D区	第Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ層	
5	12	杯蓋	14.8		4.2	A・B・C・D・F区	第Ⅰ層・第Ⅶ層(床面直上)	
6	5	杯蓋	14.6		4.4	A・A-S・S区	第Ⅶ層(床面直上)	
7	6	杯蓋	14.2		4.2	S区	第Ⅶ層(床面直上)	
8	7	杯蓋	14.4		4.3	B区	第Ⅶ層(床面直上)	
9	－	杯蓋	長2.5	幅7.1		B・D区	第Ⅶ層(床面直上)	
10	－	杯蓋	13.8		4.0	C・D・E・F・L・W区	第Ⅶ層(床面直上)	
11	8	杯蓋	13.4		4.2	A・B区	第Ⅶ層(床面直上)	
12	9	杯蓋	13.8		4.2	T-B区	第Ⅶ層(床面直上)	
13	10	杯蓋	13.0		3.7	G区	第Ⅵ層・第Ⅶ層(床面直上)	
14	17	杯蓋	長7.4	幅8.3		I区	第Ⅶ層(床面直上)	
15	11	杯蓋	15.3		4.5	S区	第Ⅵ層・第Ⅶ層	
16	14	杯蓋	14.0		3.7	C・D・F・N区	第Ⅶ層(床面直上)	
17	13	杯蓋	14.1		3.6	C区	第Ⅶ層(床面直上)	
18	－	杯蓋	長2.8	幅4.9		J区	第Ⅶ層(床面直上)	
19	15	杯蓋	14.0		4.1	A・C区	第Ⅵ層・第Ⅶ層上面・第Ⅳ層(床面直上)	
20	16	杯蓋	13.4		4.2	F・G・H区	第Ⅶ層(床面直上)	
21	18	杯身	14.0	16.2	5.2	A・S・U区	第Ⅶ層(床面直上)	
22	19	杯身	13.6	15.8	4.4	T区	第Ⅶ層(床面直上)	
23	20	杯身	13.0	15.0	4.2	A・S区	第Ⅶ層(床面直上)	
24	21	杯身	14.2	16.8	4.8	C・D区	第Ⅶ層(床面直上)	
25	29	杯身	12.4	15.2	3.7	C-D区	第Ⅶ層(床面直上)	
26	22	杯身	12.8	15.4	4.8	C区	第Ⅶ層(床面直上)	
27	23	杯身	12.4	14.8	4.6	A・B区	第Ⅶ層(床面直上)	
28	24	杯身	12.6	15.2	4.0	B-D区	第Ⅶ層(床面直上)	小動物の足跡
29	31	杯身	長2.5	幅7.8		D区	第Ⅶ層(床面直上)	
30	30	杯身	12.2	14.8		C・D・F区	第Ⅶ層(床面直上)	
31	26	杯身	11.8	14.0	4.2	B・T・U区	第Ⅶ層(床面直上)	
32	25	杯身	12.0	14.4	4.2	A-B区	第Ⅶ層(床面直上)	
33	27	杯身	11.4	13.4	3.7	G区	第Ⅶ層(床面直上)	
34	34	杯身	11.0	12.0	3.6	G・I・J・J-L・K・L・V区	第Ⅶ層・第Ⅶ層(床面直上)	
35	28	杯身	12.0	14.2	4.8	C区	第Ⅶ層(床面直上)	
36	32	杯身	長4.9	幅7.6		H区	第Ⅶ層(床面直上)	
37	33	杯身	11.2	13.7	4.1	G-H・G・G-E区	第Ⅵ層・第Ⅶ層(床面直上)	
38	－	杯身	長3.5	幅9.0		K・L区	第Ⅶ層(床面直上)	
39	35	杯身	10.4	11.4	2.9	K区	第Ⅶ層(床面直上)	
40	36	蓋		9.2	3.5	L区	第Ⅶ層(床面直上)	
41	－	壺	長3.4	幅4.6		N区	流土	
42	38	壺	7.4	(8.6)	8.4	C・E・G区	第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅶ層(床面直上)	
43	37	短頸壺	長7.6	幅11.6		羨道部	表土・攪乱内	
44	39	礎	13.6		16.0	S・T区	第Ⅶ層(床面直上)	
45	40	高杯	11.2		16.8	D・F・S区	第Ⅶ層・第Ⅶ層(床面直上)	
46	41	高杯	12.6		18.0	C・E・G区	第Ⅵ層・第Ⅶ層上面・第Ⅳ層(床面直上)	
47	－	高杯	長3.6	幅2.6		入口付近	表面採集	

見野古墳群6号墳 東石室 須恵器 一覧（2） 立命館報告書 図39・40・41

立命館	姫路市	器種	口径	最大径	器高	地区名	遺構・層位	備 考
48	42	提瓶	9.8	20.7	25.8	T区	第Ⅶ層 (床面直上)	
49	43	甕	長7.6	幅6.4		J区	第Ⅶ層 (床面直上)	
50	44	甕	長6.5	幅6.9		F区	第Ⅶ層 (床面直上)	
51	45	甕	長7.9	幅8.5		J区	第Ⅶ層 (床面直上)	
52	46	甕	長10.2	幅11.6		H区南アゼ・J区	第Ⅵ層・第Ⅶ層	
53	47	甕	長12.4	幅7.8		L区	床面直上(第Ⅶ層・排水溝面)	

見野古墳群6号墳 東石室 土師器 一覧 立命館報告書 図42

立命館	姫路市	器種	口径	最大径	器高	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	壺	長4.4	幅3.0		S区	第Ⅶ層 (床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 鉄刀 一覧 立命館報告書 図45

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	鉄刀1	(66.4)	4.2	1.9	E・G区	第Ⅶ層 (床面直上)	鏝2片あり 身7片
		①鏝		5.5				2片あり
		②身1・2	12.8					2片に分離 (接合可)
		③身3・4	13.0					
		④身5・6・7	20.0					
		⑤身8	4.8					身5.6.7／身9から剥離か
		⑥身9	11.0					
		⑦身10・11	11.0					
2	2	鉄刀2	(86.0)	4.8	2.5	A・C区	第Ⅶ層 (床面直上)	身7片
		①身1	14.5					
		②身2	22.5					
		③身3	7.5					
		④身4	18.0					
		⑤身5	6.8					
		⑥身6	19.8					
		⑦身7	5.0					
3	3	鉄刀3	(77.2)	4.2	1.9	D・F・H区	第Ⅶ層(床面直上)	鏝1片あり 身6片
		①鏝		3.7				
		②身1	21.8					
		③身2	9.0					
		④身3	10.1					
		⑤身4	6.0					
		⑥身5	10.6					
		⑦身6	8.0					

見野古墳群6号墳 東石室 鉄鏃 一覧（1） 立命館報告書 図46・47

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	腸扶柳葉式	8.9	2.8	0.9	B区	第Ⅶ層 (床面直上)	
2	2	腸扶柳葉式	5.2	2.8	0.8	C区	第Ⅶ層 (床面直上)	
3	－	柳葉式か	2.9	1.9	0.45	D区	第Ⅶ層 (床面直上)	
4	3	長三角式	10.2	2.4	0.9	B区	第Ⅶ層 (床面直上)	
5	4	圭頭式	5.8	2.7	0.7	L区	第Ⅶ層 (床面直上)	
6	5	圭頭式	8.7	3.1	1.0	D区	第Ⅶ層 (床面直上)	
7	9	柳葉式長頭鏃	11.5	1.2	0.8	C・D区・不明	第Ⅶ層 (床面直上)	
8	6	柳葉式長頭鏃	11.4	1.1	0.9	不明	第Ⅶ層	
9	7	柳葉式長頭鏃	11.8	2.7	1.0	B区	第Ⅶ層 (床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 鉄鏃 一覧（2） 立命館報告書 図46・47

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
10	8	柳葉式長頭鏃	14.1	1.2	0.8	B区	第Ⅶ層 (床面直上)	
11	11	柳葉式長頭鏃	3.5	1.2	0.9	B区	第Ⅶ層 (床面直上)	

12	12	柳葉式長頸鏃	5.3	0.8	0.5	F区	第Ⅶ層	
13	10	長頸鏃	11.7	1.0	0.8	B区	第Ⅶ層	
14	－	頸部	5.5	1.35	1.1	F区	第Ⅶ層 (床面直上)	
15	－	頸部	4.4	0.8	0.45	K区	第Ⅶ層(溝埋土)	
16	－	頸部	2.5	0.9	0.55	A区	第Ⅶ層 (床面直上)	
17	－	頸部	3.3	1.9	1.0	T区	第Ⅶ層 (床面直上)	
18	－	頸部	2.4	0.9	0.5	I区	第Ⅶ層 (床面直上)	
19	－	頸部	7.3	1.1	1.0	B区	第Ⅶ層 (床面直上)	
20	16	頸部	7.5	1.3	0.7	E区	第Ⅶ層 (床面直上)	
21	－	頸部	5.1	1.0	0.65	B区	第Ⅶ層	
22	－	頸部	4.6	1.2	0.6	T区	第Ⅶ層 (床面直上)	先端部折れ (2片)
23	15	頸部	5.6	1.9	0.9	B・T区	第Ⅶ層 (床面直上)	
24	－	頸部	3.7	1.6	0.8	D区	不明	
25	14	頸部	5.2	1.1	0.65	D区	第Ⅶ層	
26	－	茎部	3.8	0.7	0.45	L区	第Ⅶ層 (床面直上)	
27	－	茎部	4.7	0.5	0.5	J区	第Ⅶ層 (床面直上)	
28	－	茎部	4.25	0.6	0.45	J区	第Ⅶ層 (床面直上)	
29	－	茎部	3.7	0.6	0.5	E区	第Ⅶ層	
30	－	茎部	3.4	0.7	0.45	L区	第Ⅶ層 (床面直上)	
31	－	茎部	2.6	0.65	0.5	L区	第Ⅶ層 (床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 弓金具 一覧 立命館報告書 図48

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	その他鉄器類4	弓金具	3.1	0.6	0.5	D区	第Ⅶ層	
2	その他鉄器類7	弓金具	1.4	0.6	0.4	A区	第Ⅶ層	
3	その他鉄器類6	弓金具	1.2	0.7	0.6	不明	第Ⅶ層	

見野古墳群6号墳 東石室 馬具 一覧 立命館報告書 図49・50

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	鉄製環状鏡板付轡	6.5	15.5	3.0	D区	第Ⅶ層 (床面直上)	6片(銜・鏡板・引手)
2	－	雲珠・辻金具の飾金具	1.9	2.9	0.2	－	第Ⅶ層	

見野古墳群6号墳 東石室 刀子 一覧 立命館報告書 図51

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	刀子	18.6	2.2	0.9	T区	第Ⅶ層 (床面直上)	4片に分離
2	2	刀子	4.5	1.4	0.6	F区	第Ⅶ層	
3	5	刀子	5.4	1.4	0.6	B・D区	第Ⅶ層	
4	3	刀子	6.0	1.8	0.7	A区	第Ⅶ層 (床面直上)	
5	8	刀子	5.5	1.5	0.5	C区	第Ⅵ層・第Ⅶ層(床面直上)	
6	鉄鏃13	刀子	3.4	2.6	1.2	T区	第Ⅶ層 (床面直上)	
7	13	刀子	4.0	1.7	0.8	J区	第Ⅶ層 (床面直上)	
8	14	刀子	3.4	1.8	0.8	B区	第Ⅶ層	
9	9	刀子	3.7	1.3	0.7	A・B・C区	第Ⅶ層 (床面直上)	
10	10	刀子	5.4	1.4	0.5	D区	第Ⅶ層	
11	16	刀子	5.7	1.2	0.55	G区	第Ⅶ層 (床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 鉈 一覧 立命館報告書 図52

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	その他鉄器類1	鉈	8.5	1.3	0.9	C区	第Ⅶ層	
2	刀子6	鉈	5.2	1.5	0.9	H区	第Ⅶ層 (床面直上)	
3	刀子15	鉈	4.7	1.5	0.7	H区	第Ⅶ層 (床面直上)	
4	刀子7	鉈	4.7	1.5	1.0	F区	第Ⅶ層 (床面直上)	
5	刀子11	鉈	4.0	1.4	0.8	F区	第Ⅶ層 (床面直上)	
6	刀子4	鉈	5.1	1.8	1.15	H区	第Ⅶ層 (床面直上)	
7	刀子12	鉈	6.4	1.6	0.6	G区	第Ⅶ層	

見野古墳群6号墳 東石室 鉄釘 一覧 立命館報告書 図53

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	その他鉄器類2	鉄釘	2.3	0.7	0.45	L区	第Ⅶ層 (床面直上)	
2	その他鉄器類3	鉄釘	2.2	0.8	0.5	L区	第Ⅶ層 (床面直上)	
3	その他鉄器類10	鉄釘	3.4	0.6	0.6	L区	第Ⅶ層 (床面直上)	
4	－	鉄釘	2.65	0.7	0.55	J区	第Ⅶ層 (床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 中世武具 一覧 立命館報告書 図54

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	－	伊予札	5.4	2.6	0.8	D・F区	不明	

見野古墳群6号墳 東石室 耳環 一覧 立命館報告書 図43

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	金環	2.27×2.26	0.31×0.34	－	F区	第Ⅶ層 (床面直上)	
2	2	金環	2.29×2.28	0.33×0.34	－	F区	第Ⅶ層 (床面直上)	
3	3	銀環	2.25×2.56	0.45×0.69	－	G区	第Ⅶ層	
4	4	銀環	2.50×2.72	0.61×0.60	－	G区	第Ⅶ層 (床面直上)	
5	5	銀環	2.92×3.23	0.85×0.86	0.2	C区	第Ⅵ層	
6	6	銀環	3.06×3.29	0.86×0.91	－	C区	第Ⅵ層	
7	7	銀環	2.89×3.40	0.71×0.74	0.4	I区	第Ⅵ層	
8	8	銀環	2.95×3.39	0.85×0.95	－	C区	第Ⅶ層 (床面直上)	
9	9	銀環	2.76×3.09	0.72×0.75	0.2	A区	第Ⅶ層 (床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 切子玉 一覧 立命館報告書 図44

立命館	姫路市	名称	材質	全長	最大径	上径孔	下径孔		重量	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	切子玉	水晶	23.5	14.0	4.0	1.5		5.19	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
2	2	切子玉	水晶	14.5	12.5	4.0	1.0		2.62	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
3	3	切子玉	水晶	12.0	12.0	3.5	2.0		1.78	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
4	4	切子玉	水晶	(1.7)	0.80	0.30	－		0.40	B区	第Ⅶ層	
5	5	切子玉	グリーンタフ	10.0	8.5	2.0	1.0		0.86	A区	第Ⅶ層(床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 管玉・棗玉 一覧 立命館報告書 図44

立命館	姫路市	名称	材質	全長	上径	下径	上径孔	下径孔	重量	地区名	遺構・層位	備 考
6	6	棗玉	琥珀	(18.0)	(9.5)	－	3.5	3.5	0.77	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
7	7	管玉	碧玉	21.0	7.0	7.0	2.5	2.0	2.01	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
8	8	管玉	碧玉	21.5	8.5	8.5	3.5	1.0	3.2	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
9	9	管玉	碧玉	22.0	6.5	6.5	2.0	2.0	2.2	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
10	10	管玉	碧玉	28.5	10.0	10.0	3.5	1.0	5.3	C区	第Ⅶ層(床面直上)	

見野古墳群6号墳 東石室 ガラス玉 一覧（1） 立命館報告書 図44

立命館	姫路市	名称	材質	最大径	最小径	最大孔径	最小孔径	厚	重量	地区名	遺構・層位	備 考
11	11	小玉	ガラス	7.80	6.80	1.00	0.90	5.20	0.48	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
12	12	小玉	ガラス	8.70	7.30	2.00	1.50	6.70	0.68	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
13	13	小玉	ガラス	5.30	4.70	2.00	1.70	4.10	0.14	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
14	14	小玉	ガラス	7.30	6.90	2.00	1.30	4.90	0.41	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
15	15	小玉	ガラス	6.90	6.45	2.00	1.75	5.15	0.38	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
16	16	小玉	ガラス	6.25	6.10	2.00	1.75	3.65	0.22	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
17	17	小玉	ガラス	7.15	6.40	2.75	2.40	6.70	0.41	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
18	18	小玉	ガラス	3.30	3.10	1.00	0.90	1.50	0.02	F区	第Ⅶ層(床面直上)	
19	19	小玉	ガラス	3.90	3.70	1.10	1.00	2.20	0.05	F区	第Ⅶ層(床面直上)	
20	20	小玉	ガラス	4.20	4.00	1.10	1.00	3.20	0.09	D区	第Ⅶ層	
21	21	小玉	ガラス	5.10	4.80	1.10	1.00	3.00	0.12	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
22	22	小玉	ガラス	5.10	3.60	1.30	1.00	3.20	0.10	D区	第Ⅶ層(床面直上)	

23	23	小玉	ガラス	5.00	4.50	1.00	0.90	2.30	0.09	J区	第Ⅶ層(床面直上)	
24	24	小玉	ガラス	4.40	4.20	1.10	1.00	2.80	0.08	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
25	25	小玉	ガラス	3.90	3.70	1.00	0.90	2.10	0.06	F区	第Ⅶ層	
26	26	小玉	ガラス	4.20	3.80	1.10	1.00	2.60	0.08	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
27	27	小玉	ガラス	4.40	4.20	1.30	1.20	2.10	0.06	D区	第Ⅶ層	
28	28	小玉	ガラス	4.30	3.80	1.30	1.20	2.60	0.07	D区	第Ⅶ層	
29	29	小玉	ガラス	4.20	4.10	1.10	1.00	2.80	0.08	D区	第Ⅶ層	
30	30	小玉	ガラス	4.40	4.20	1.30	1.00	3.80	0.08	D区	第Ⅶ層	
31	31	小玉	ガラス	4.10	3.90	1.20	1.10	1.90	0.05	D区	第Ⅵ層	
32	32	小玉	ガラス	4.20	4.00	1.30	1.20	2.60	0.07	D区	第Ⅵ層	
33	33	小玉	ガラス	4.10	3.90	0.90	0.80	2.10	0.06	B区	第Ⅶ層	
34	34	小玉	ガラス	3.70	3.60	1.00	0.90	2.00	0.04	B区	第Ⅶ層	
35	35	小玉	ガラス	3.80	3.50	1.00	0.90	3.20	0.07	B区	第Ⅶ層(床面直上)	
36	36	小玉	ガラス	2.80	2.70	0.80	0.70	2.20	0.02	B区	第Ⅶ層(床面直上)	
37	37	小玉	ガラス	5.00	4.30	1.00	0.90	3.90	0.13	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
38	38	小玉	ガラス	3.90	3.90	1.25	1.25	2.35	0.05	B区	第Ⅶ層	
39	39	小玉	ガラス	4.70	4.30	1.30	1.20	3.10	0.11	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
40	40	小玉	ガラス	4.70	4.60	1.00	0.90	3.70	0.12	F区	第Ⅶ層	
41	41	小玉	ガラス	3.50	3.30	0.70	0.60	2.00	0.03	F区	第Ⅶ層	
42	42	小玉	ガラス	3.70	3.60	0.90	0.80	2.60	0.06	H区	第Ⅶ層	
43	43	小玉	ガラス	3.00	3.00	1.15	1.10	1.60	0.02	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
44	44	小玉	ガラス	2.90	2.80	1.20	1.10	1.80	0.02	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
45	45	小玉	ガラス	3.70	3.60	1.00	0.80	1.70	0.03	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
46	46	小玉	ガラス	4.30	3.70	1.30	1.10	3.10	0.08	D区	第Ⅶ層	
47	47	小玉	ガラス	3.70	3.60	1.20	1.10	3.20	0.07	D区	第Ⅶ層	
48	48	小玉	ガラス	4.00	3.70	1.20	1.10	2.40	0.06	D区	第Ⅶ層	
49	49	小玉	ガラス	3.60	3.30	1.20	1.10	1.70	0.03	D区	第Ⅶ層	
50	50	小玉	ガラス	4.10	3.90	1.00	0.90	2.50	0.05	D区	第Ⅶ層	
51	51	小玉	ガラス	4.20	4.10	1.10	1.00	3.10	0.03	D区	第Ⅶ層	
52	52	小玉	ガラス	4.30	4.20	1.20	1.10	2.60	0.03	D区	第Ⅶ層	
53	53	小玉	ガラス	3.80	3.60	1.30	1.10	1.60	0.03	D区	第Ⅶ層	
54	54	小玉	ガラス	3.70	3.60	1.10	1.00	2.60	0.06	D区	第Ⅶ層	
55	55	小玉	ガラス	4.40	4.30	1.30	1.20	2.50	0.07	D区	第Ⅶ層	
56	56	小玉	ガラス	4.40	4.30	1.00	0.90	2.90	0.08	D区	第Ⅶ層	
57	57	小玉	ガラス	3.70	3.50	0.90	0.80	2.20	0.09	D区	第Ⅶ層	

見野古墳群6号墳 東石室 ガラス玉 一覧（2） 立命館報告書 図44

立命館	姫路市	名称	材質	最大径	最小径	最大孔径	最小孔径	厚	重量	地区名	遺構・層位	備 考
58	58	小玉	ガラス	3.60	3.50	1.20	1.10	1.90	0.07	D区	第Ⅶ層	
59	59	小玉	ガラス	4.10	4.00	1.50	1.40	1.60	0.09	D区	第Ⅶ層	
60	60	小玉	ガラス	3.20	3.10	0.90	0.80	1.50	0.08	D区	第Ⅶ層	
61	61	小玉	ガラス	4.00	3.90	1.10	1.00	2.50	0.13	D区	第Ⅶ層	
62	62	小玉	ガラス	5.00	4.70	1.30	1.20	3.30	0.04	D区	第Ⅶ層	
63	63	小玉	ガラス	3.90	3.60	1.10	1.00	2.20	0.04	D区	第Ⅶ層	
64	64	小玉	ガラス	3.50	3.40	0.90	0.80	2.20	0.04	D区	第Ⅶ層	
65	65	小玉	ガラス	5.20	4.80	1.90	1.60	2.50	0.09	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
66	66	小玉	ガラス	4.50	4.40	1.40	1.50	3.00	0.09	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
67	67	小玉	ガラス	3.70	3.50	1.10	1.00	2.80	0.07	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
68	68	小玉	ガラス	4.00	3.90	1.30	1.20	2.20	0.06	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
69	69	小玉	ガラス	3.70	3.50	1.10	1.00	1.50	0.04	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
70	70	小玉	ガラス	4.40	3.80	1.30	1.00	2.70	0.07	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
71	71	小玉	ガラス	3.30	3.20	1.00	0.90	2.00	0.03	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
72	72	小玉	ガラス	3.50	3.40	1.10	1.00	2.60	0.04	D区	第Ⅶ層	
73	73	小玉	ガラス	3.70	3.60	1.10	1.00	2.00	0.04	D区	第Ⅶ層(床面直上)	

74	74	小玉	ガラス	3.80	3.50	1.10	1.00	2.50	0.05	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
75	75	小玉	ガラス	4.00	3.40	1.10	1.00	2.40	0.05	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
76	76	小玉	ガラス	5.00	4.30	1.50	1.10	2.50	0.08	D区	第Ⅶ層	
77	77	小玉	ガラス	4.50	4.15	1.80	1.40	2.80	0.07	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
78	78	小玉	ガラス	3.90	3.50	1.10	1.00	1.80	0.04	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
79	79	小玉	ガラス	4.10	3.80	1.30	1.20	3.80	0.08	C区	第Ⅶ層(床面直上)	
80	80	小玉	ガラス	3.00	2.80	0.70	0.60	2.40	0.03	I区	第Ⅶ層(床面直上)	
81	81	小玉	ガラス	4.60	4.00	1.00	0.90	2.60	0.09	C区	第Ⅶ層(床面直上)	
82	82	小玉	ガラス	2.50	2.30	0.70	0.60	1.50	0.01	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
83	83	小玉	ガラス	4.20	3.90	1.40	1.30	3.10	0.07	D区	第Ⅶ層(床面直上)	
84	84	小玉	ガラス	4.10	4.00	1.30	1.20	2.90	0.08	C区	第Ⅶ層(床面直上)	
85	85	小玉	ガラス	2.90	2.80	1.00	0.90	1.60	0.01	A区	第Ⅶ層	
86	86	小玉	ガラス	3.70	3.60	1.10	1.00	1.90	0.03	A区	第Ⅶ層	
87	87	小玉	ガラス	3.50	3.20	1.00	0.90	3.20	0.05	A区	第Ⅶ層	
88	88	小玉	ガラス	3.40	3.20	1.00	0.90	2.10	0.03	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
89	89	小玉	ガラス	4.70	4.40	1.10	1.00	3.20	0.10	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
90	90	小玉	ガラス	3.10	2.95	1.25	1.25	2.60	0.02	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
91	91	小玉	ガラス	4.20	3.30	1.10	1.00	4.70	0.11	A区	第Ⅶ層	
92	92	小玉	ガラス	3.10	2.90	1.00	0.90	3.50	0.05	B区	壁面清掃中	
93	93	小玉	ガラス	3.70	2.80	0.90	0.80	2.10	0.01	D区	第Ⅶ層	
94	94	小玉	ガラス	3.30	3.10	0.90	0.80	2.60	0.04	B区	第Ⅶ層(床面直上)	
95	95	小玉	ガラス	2.50	2.30	0.60	0.50	1.10	0.01	S区	第Ⅶ層	
96	96	小玉	ガラス	3.00	2.90	0.90	0.80	2.70	0.04	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
97	97	小玉	ガラス	4.00	3.90	1.30	1.20	1.90	0.05	T区	第Ⅶ層(床面直上)	
98	98	小玉	ガラス	4.00	3.90	0.90	0.80	2.00	0.05	A区	第Ⅶ層(床面直上)	
99	99	小玉	ガラス	3.30	3.10	0.60	0.50	2.90	0.05	S区	第Ⅶ層	
100	100	小玉	ガラス	2.50	2.40	0.80	0.70	3.20	0.04	A区	第Ⅴ～Ⅶ層	
101	101	小玉	ガラス	4.90	4.40	1.10	1.00	3.70	0.12	B区	第Ⅶ層	
102	102	小玉	ガラス	2.50	2.45	0.95	0.95	1.85	0.02	A・C区	第Ⅶ層(床面直上)	
103	-	小玉	ガラス	10.00	-	2.50	-	7.20	0.41	C区	第Ⅶ層	半裁 (微小片あり)
104	-	小玉	ガラス	8.30	-	2.00	-	6.00	0.25	C区	第Ⅶ層	半裁

見野古墳群6号墳 東石室 ガラス玉 一覧 (3) 立命館報告書 図44

立命館	姫路市	名称	材質	最大径	最小径	最大孔径	最小孔径	厚	重量	地区名	遺構・層位	備 考
105	-	小玉	ガラス	4.80	-	1.30	1.20	2.50	0.05	D区	第Ⅶ層	半裁 (2片あり)

見野古墳群6号墳 西石室 須恵器 一覧 立命館報告書 図62・63・64

立命館	姫路市	器種	口径	最大径	器高	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	杯蓋	15.5		4.2	C・K・M・N区	第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層(床面直上)	
2	2	杯蓋	15.6		4.0	Q区	第Ⅷ層(床面直上)	
3	3	杯蓋	14.3		4.0	D・E・F・O区	第Ⅷ層(床面直上)	
4	6	杯蓋	14.0		3.9	B・D区	第Ⅷ層(床面直上)	
5	7	杯蓋	14.3		4.1	E・L・R区	第Ⅵ層・第Ⅶ層上面	
6	5	杯蓋	14.2		4.3	B・R区	第Ⅷ層(床面直上)	
7	10	杯蓋	13.8		3.7	F・N区	第Ⅷ層(床面直上)	
8	8	杯蓋	11.6		4.0	D区	第Ⅷ層(床面直上)	
9	9	杯蓋	(15.0)		(4.0)	D・E・F・G・H・J・K・N区	第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層(床面直上)・排水溝内埋土	
10	4	杯蓋	14.0		3.8	A区	第Ⅷ層(床面直上)	
11	-	杯蓋	長5.0	幅3.7		H・I・R区	第Ⅵ層・第Ⅶ層(床面直上)	2片あり (接合しない)
12	11	杯蓋	11.0		3.7	N区・清掃土	第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層(床面直上)	
13	-	杯蓋	長3.0	幅6.0		L・N区	第Ⅷ層(床面直上)	
14	12	杯蓋	16.4	16.8	2.6	J区	第Ⅷ層(床面直上)	
15	13	杯身	13.8	16.2	4.1	D・G区	第Ⅷ層(床面直上)・箱式石棺1	

16	14	杯身	14.0	16.2	4.0	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
17	15	杯身	12.8	15.2	4.0	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
18	18	杯身	12.4	14.5	4.3	B・D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
19	19	杯身	12.4	14.7	(4.3)	E・M・N区	第Ⅵ層・第Ⅶ層・排水溝内埋土	
20	17	杯身	12.4	14.4	4.2	B区	第Ⅷ層 (床面直上)	
21	16	杯身	12.4	14.7	4.1	A・B・C区	第Ⅷ層 (床面直上)	
22	20	杯身	10.0	11.9	3.4	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
23	－	杯身	長6.2	幅7.5		J・M・N・W区	第Ⅵ層・第Ⅶ層	
24	21	杯身	12.1		3.7	D・E・F・G・H・K・N区	第Ⅶ層上面・第Ⅶ層・第Ⅷ層・床面直上	
25	22	高杯	(9.0)		(5.0)	C区	第Ⅵ層上面	
26	23	高杯	12.5		13.3	N・O・P区	第Ⅵ層・第Ⅶ層・床面直上	
27	24	平瓶	5.8	14.5	12.8	A・C・G区	第Ⅷ層 (床面直上)	
28	25	鉢	(17.5)	(19.6)	(9.0)	H・I・J・K・L・M・P区	第Ⅶ層・第Ⅷ層(床面直上)	
29	26	短頸壺	13.3	(15.7)	(14.3)	O・P区	第Ⅴ層・第Ⅵ層・第Ⅷ層(床面直上)排水溝内埋土	
30	－	提瓶	長9.0	幅8.4		E・F・L・N・P区	第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層(床面直上)	2片あり (接合しない)
31	27	提瓶	10.7	20.0	22.0	Q区	第Ⅷ層 (床面直上)	
32	28	提瓶	6.0	16.0	20.0	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	
33	29	提瓶		13.2	16.2	N区	第Ⅷ層 (床面直上)	
34	30	提瓶	5.7	14.8	17.8	N区	第Ⅷ層 (床面直上)	
35	31	甕	長6.0	幅4.8		P区	第Ⅱ層	
36	32	甕	長5.5	幅3.8		第1トレンチ	填丘直上	
37	33	甕	長5.7	幅8.9		N区	排水溝内埋土	
38	34	甕	長11.1	幅7.2		P区	第Ⅱ層	
39	35	甕	長12.4	幅16.3		O区	第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層(床面直上)	
40	36	甕	長9.4	幅5.9		N区	排水溝内	
41	37	甕	長11.0	幅10.3		J区	石室内表土	

見野古墳群6号墳 西石室 土師器 一覧 立命館報告書 図65・66・67・68

立命館	姫路市	器種	口径	最大径	器高	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	壺	(7.8)	9.6	8.3	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	1群
2	2	壺		9.7	7.0	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	
3	3	壺		9.0	5.9	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	
4	4	高杯	17.1		15.3	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	
5	5	高杯	17.4		14.7	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	
6	7	甕			3.9	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	
7	8	鉢	12.8	13.1	5.2	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	
8	11	鉢	11.0		4.6	R区	第Ⅷ層 (床面直上)	2群
9	9	鉢	13.8		5.2	K・M・N区	第Ⅶ層	
10	10	鉢			(4.5)	M区	第Ⅵ層	
11	－	皿	(16.9)		(3.2)	K・S区	第Ⅶ層・落ち込み埋土	3群
12	12	皿	19.6		3.2	M区	第Ⅶ層	
13	－	大型壺	22.4	63.2	51.6	D・E・F・G区	第Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ層 (床面直上)	4群
14	－	大型皿	27.9		6.0	F区	第Ⅵ・Ⅶ層	
15	－	大型皿	27.7		6.2	D・F・H区	第Ⅶ層	
16	－	甕	縦(23.8)	横(25.7)	高(10.7)	J・K・M・N区	第Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ層	
17	－	大型台	(58.2)		5.8	E・G区	第Ⅶ・Ⅷ層	
18	－	大型台	縦(36.2)	横(19.6)	高(7.2)	F・N区	第Ⅶ・Ⅷ層	
19	－	器種不明	縦(2.4)	横(8.7)		H・J区	第Ⅶ・Ⅷ層	5群
20	6	甕	25.8		8.3	J区	第Ⅵ層	
21	－	壺	22.2	(37.8)	(26.1)	C・D・F・G・H・J区	第Ⅴ・Ⅵ層	

見野古墳群6号墳 西石室 中世須恵器 一覧 立命館報告書 図74

立命館	姫路市	器種	口径	最大径	器高	地区名	遺構・層位	備 考
1	－	椀	15.3		4.2	H区	第Ⅵ層	

見野古墳群6号墳 西石室 瓦 一覧 立命館報告書 図75

立命館	姫路市	器種	口径	最大径	器高	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	平瓦	5.9	5.8	1.9	J区	第Ⅶ層	
2	2	平瓦	7.6	6.2	2.0	E区	第Ⅶ層	
3	3	平瓦	5.4	6.6	1.8	E区	第Ⅶ層	
4	4	平瓦	6.1	10.2	1.9	J区	第Ⅶ層・第Ⅷ層(床面直上)	

見野古墳群6号墳 西石室 耳環 一覧 立命館報告書 図69

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	銀環	2.9	2.1	0.7×0.65	B区	第Ⅷ層(床面直上)	
2	2	銀環	2.95	2.7	0.75×0.7	C区	第Ⅷ層(床面直上)	
3	3	銀環	3.0	2.4	0.5×0.6	B区	第Ⅷ層(床面直上)	
4	4	銀環	2.0	2.15	0.6×0.55	B区	第Ⅷ層(床面直上)	
5	5	銀環	(1.8)	－	0.4×0.35	B区	第Ⅷ層(床面直上)	半裁(2片あり)

見野古墳群6号墳 西石室 鉄鏃 一覧（1） 立命館報告書 図72

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	腸扶柳葉式	10.5	2.3	0.4	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
2	2	腸扶柳葉式	7.5	2.3	0.7	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
3	3	腸扶柳葉式	6.8	2.1	0.5	R区	第Ⅷ層(床面直上)	2片に折れ
4	－	腸扶柳葉式	2.5	1.5	1.1	R区	土師器周辺土	
5	4	頸部(腸扶柳葉式?)	6.6	1.0	0.5	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
6	－	柳葉式	4.0	1.8	0.7	R区	土師器周辺土	

見野古墳群6号墳 西石室 鉄鏃 一覧（2） 立命館報告書 図72

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
7	－	柳葉式	3.0	1.6	0.4	R区	土師器周辺土	
8	－	腸扶柳葉式	2.9	1.7	0.7	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
9	－	腸扶柳葉式	3.5	1.6	0.4	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
10	5	方頭式	4.2	3.0	0.4	R区	第Ⅷ層(床面直上)	2片に折れ
11	6	方頭式	10.6	3.0	0.5	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
12	7	方頭式	10.7	2.6	0.6	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
13	8	方頭式	7.6	3.0	1.2	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
14	－	方頭式	6.5	2.0	0.6	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
15	－	方頭式	2.0	2.3	0.7	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
16	－	頸部	3.9	1.4	0.7	R区	第Ⅷ層	
17	－	頸部	1.8	1.0	0.5	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
18	－	茎部	1.9	0.6	0.6	R区	第Ⅷ層	
19	－	茎部	3.6	0.5	0.5	F区	第Ⅷ層	
20	－	茎部	3.5	0.8	0.7	R区	第Ⅷ層(床面直上)	
21	－	不明	8.0	3.8	0.8	F区	第Ⅷ層(床面直上)	

見野古墳群6号墳 西石室 鉄刀 一覧 立命館報告書 図71

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	9	鉄刀	14.2	3.5	0.7	B区	第Ⅷ層	

見野古墳群6号墳 西石室 不明鉄器 一覧 立命館報告書 図73

立命館	姫路市	名称	長	幅	厚	地区名	遺構・層位	備 考
1	－	－	7.2	5.5	0.4	A区	第Ⅶ層	

見野古墳群6号墳 西石室 勾玉 一覧 立命館報告書 図70

立命館	姫路市	名称	材質	全長	最大幅	最大孔径			重量	地区名	遺構・層位	備 考
1	1	勾玉	滑石	22.0	6.0	4.0			1.7	C区	第Ⅷ層(床面直上)	

見野古墳群6号墳 西石室 切子玉 一覧 立命館報告書 図70

立命館	姫路市	名称	材質	全長	最大径	上径孔	下径孔		重量	地区名	遺構・層位	備 考
2	2	切子玉	水晶	13.0	11.5	3.5	1.5		2.0	C区	第Ⅷ層	

見野古墳群6号墳 西石室 管玉 一覧 立命館報告書 図70

立命館	姫路市	名称	材質	全長	上径	下径	上径孔	下径孔	重量	地区名	遺構・層位	備 考
3	3	管玉	碧玉	31.1	11.5	11.5	6.5	2.0	7.65	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
4	4	管玉	碧玉	25.0	8.0	7.5	4.0	2.0	2.74	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
5	5	管玉	碧玉	20.0	8.5	9.0	2.0	1.5	2.95	A区	第Ⅵ層	
6	6	管玉	碧玉	(5.0)	8.0	－	2.5	－	0.31	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
7	7	管玉	碧玉	(6.0)	7.0	－	－	－	0.2	C区	第Ⅷ層	
8	8	管玉	碧玉	(18.5)	6.5	－	2.0	－	1.27	L区	第Ⅷ層 (床面直上)	
9	9	管玉	碧玉	(12.0)	8.0	－	2.5	－	0.98	B区	第Ⅷ層 (床面直上)	
10	10	管玉	碧玉	(4.0)	6.0	－	2.0	－	0.17	C区	第Ⅶ層	

見野古墳群6号墳 西石室 ガラス玉・土玉 一覧（1） 立命館報告書 図70

立命館	姫路市	名称	材質	最大径	最小径	最大孔径	最小孔径	厚	重量	地区名	遺構・層位	備 考
11	11	小玉	ガラス	5.8	5.5	2.8	2.6	5.8	0.35	D区	第Ⅷ層	
12	12	小玉	ガラス	2.8	2.6	0.9	0.8	1.5	0.01	A区	第Ⅷ層	
13	13	小玉	ガラス	3.4	3.2	1.2	1.1	2.2	0.04	－	第Ⅷ層	
14	14	小玉	ガラス	3.5	3.1	1.2	1.1	1.7	0.04	D区	第Ⅷ層	
15	15	小玉	ガラス	3.8	3.5	1.5	1.2	1.9	0.04	B区	第Ⅷ層	

見野古墳群6号墳 西石室 ガラス玉・土玉 一覧（2） 立命館報告書 図70

立命館	姫路市	名称	材質	最大径	最小径	最大孔径	最小孔径	厚	重量	地区名	遺構・層位	備 考
16	16	小玉	ガラス	4.6	4.4	1.3	1.2	2.5	0.09	D区	第Ⅶ層	
17	17	小玉	ガラス	3.1	2.6	0.9	0.8	1.7	0.01	A区	第Ⅷ層	
18	18	小玉	ガラス	4.0	3.9	1.0	0.9	3.2	0.07	Q区	第Ⅶ層	
19	19	小玉	ガラス	3.6	3.5	0.9	0.8	1.9	0.05	Q区	第Ⅶ層	
20	20	小玉	ガラス	3.7	3.6	1.2	1.1	3.2	0.06	B区	第Ⅷ層	
21	21	小玉	ガラス	4.2	4.0	1.2	1.0	2.9	0.07	Q区	第Ⅶ層	
22	22	小玉	ガラス	4.7	4.5	1.3	1.2	2.3	0.07	A区	第Ⅷ層	
23	23	小玉	ガラス	3.9	3.8	1.1	1.0	2.3	0.05	A区	第Ⅷ層	
24	24	小玉	ガラス	3.9	3.7	1.5	1.3	4.0	0.06	－	提瓶水洗土	
25	25	土玉	－	6.0	6.0	3.0	2.0	6.0	0.16	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
26	26	土玉	－	4.0	6.0	2.0	2.0	3.0	0.14	D区	第Ⅷ層 (床面直上)	
27	27	土玉	－	5.0	5.5	2.5	2.0	5.0	0.14	C区	第Ⅷ層	
28	28	土玉	－	4.0	5.0	2.0	1.5	4.5	0.08	C区	第Ⅷ層	
29	－	土玉	－	6.5	－	2.0	－	4.0	0.09	D区	第Ⅷ層	